

姫路市議会議長様

姫路市立高等学校再編計画の再検討と市民への丁寧な説明を求める請願

請願者 姫路市立高校の再編計画を考える会

【請願趣旨】

2022（令和4）年2月、姫路市教育委員会は『姫路市立高等学校在り方審議会』の答申として、市立高等学校3校（琴丘・飾磨・姫路）の再編計画を発表しました。その内容は3校を維持するのは困難であり、再編は避けて通れないというもので、市民への十分な説明がなされないまま発表されました。

2023（令和5）年2月、『姫路市立高等学校在り方方針』では、「2026（令和8）年、3つの市立高等学校を1校に再編する。新設校は1学年8～10学級とし、第一段階として現在の市立姫路高等学校の校地を活用して開設するが、将来的には交通の利便性など立地条件も考慮し、新校舎を建設する。さらに市内小中学校の学びに反映する中高一貫教育（附属中学校の設置）も検討する」などが発表されました。

教育委員会は中学校長あてに『在り方方針』を提示しましたが、中学生や保護者への説明はありませんでした。また市長は「新設校建設地を姫路市中央卸売市場跡地（手柄）にする」と、2022年（令和4）9月本会議で述べましたが、多くの市民は姫路市広報で初めて新校建設地を知りました。

2026（令和8）年度には市立3校が募集停止（新たに1校が新設される）となれば、前年度の県立高等学校3校の募集停止に続いて、短期間で高等学校数が減少し、子どもたちの選択肢が大幅に減らされることとなります。特に姫路市南部の普通科高等学校は、現在の県立南高等学校だけになります。

その結果、教育委員会からの丁寧な説明もないまま、生徒たちは遠距離通学を強いられ、電車やバスの時刻を気にしながらの登下校になり、部活動にも参加しにくくなります。さらに、保護者の通学費や送迎などの負担も大きくなります。

市立3校はどの学校も歴史のある伝統校です。卒業生は姫路市の様々な分野で地域に貢献しており、地域に愛されてきた学校です。私たちはこの市立学校の再編計画に反対です。

【請願事項】

教育環境の改善や丁寧な説明も含め、姫路市立高等学校の再編計画を再検討してください。

お名前	ご住所

※国籍、年齢、居住地に制限はありません。

※お名前、ご住所は「同上」「〃」等なさらずにご記入ください。

※この署名に記載された個人情報は、この署名の目的以外には使用いたしません。